

くも膜のう胞・透明中隔のう胞

こじま脳神経外科・内科クリニック
236-0042 横浜市金沢区釜利谷東6-21-1
電話 045-791-3177

くも膜のう胞

先天的に存在するくも膜に覆われた袋で中に髄液が入っています。まれに袋が増大して頭痛、けいれん発作を起こすことがあります。基本的には無症状で頭部打撲、頭痛などで偶然発見されます。

頻度	1000人に一人(0.1%)程度です。
治療	必要ありませんが年1回程度の定期検査が良いと思います。
手術	難治性頭痛、ケイレン発作のとき
予後	良好です

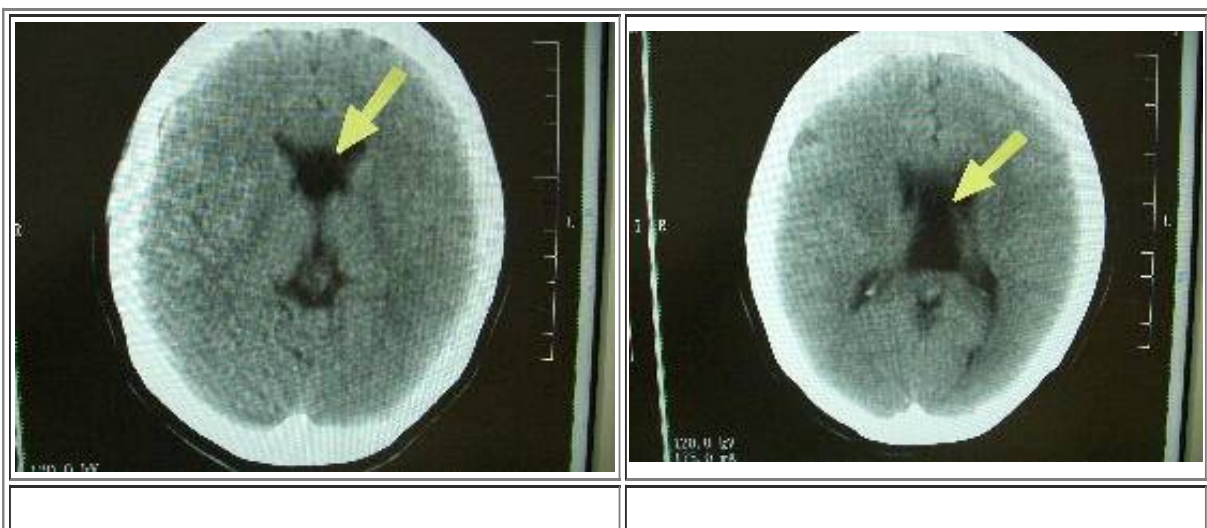


くも膜のう胞で障害(学習障害がでた症例13歳少年 (Neuro Med Chir 50 430-433 2010))

透明中隔のう胞

先天的に側脳室の間の透明中隔が袋状に膨らんだのう胞で、第5脳室とも呼ばれます。頭痛や頭部打撲で偶然発見されることが多いです。

頻度	100人に一人(1%)程度です。
症状	基本的に無症状です。
治療	袋が増大して水頭症を起こしたら手術必要です。
予後	良好です。



矢印の先にある袋が透明中核のう胞です。

透明中核のう胞の後上の部分にできた袋でベルガ腔と呼ばれ透明中核のう胞とつながっています。

ベルガ腔 (第6脳室)
頭痛、頭部打撲などで偶然発見されることが多い。

頻度	100人に0.5人(0.5%)程度です。
症状	基本的に無症状です。
治療	袋が増大して水頭症を起こしたら手術が必要です。
予後	良好です。



矢印の先にある袋がベルガ腔です。



矢印で囲まれた部分がベルガ腔です。